



学校だより

# 上小川



上小川小HP

大子町立上小川小学校

久慈郡大子町頃藤5017-2

TEL 74-0029、FAX 74-3655

文責 校長 長山 芳子

<https://www.daigo.ed.jp/page/dir000003.html>

## 安全のための三つの目

### 第一の目「自分の目～自分の命は自分で守る～」

4月25日(木)に交通安全教室を実施しました。今回は、茨城県警察本部と大子警察署から5名と町生活環境課職員と大子南地区交通安全母の会から2名の合計8名の皆さんにご指導・ご支援をいただいて「自分の命は自分で守る」学習をしました。

1～3年生は腹話術のけんちゃんど道路の安全な通行の仕方について、勉強した後、実際の道路で体験を通して確認しました。4～6年生は、自転車の走行前点検や乗り方についての講話を聞いた後、校庭に設定した模擬道路で、自転車の乗り方を再確認しました。

茨城県警察本部からお越しいただいた茅根様からは、子どもたちに向けて、次のような話がありました。

「道路は、生きています。いつもと同じ場所でも雨の時と晴れの時は違うし、これからの連休など休みの日の交通量が変わってきます。皆さんの命は一つしかない。かけがえのない大切なものです。登下校時、休みの日に外に出るとき、いつでも『自分の命は自分で守る』という強い気持ちをもって、行動してください。」

明日から連休後半、新緑の大子町にはたくさんの魅力があり、多くの観光される方々が訪れます。子どもたちの命を守るためには、「自分の目」「親や家族の目」「学校・地域の目」が大切だと言われています。4つの「あ」の一つ「安全」。子どもたちが安全な生活ができるように、家庭・地域ともに安全教育に積極的に取り組み、今年度も「交通事故0」を目指します。



1～3年腹話術による講話



4～6年模擬道路実践前の講話



自転車点検



右左右を見て、「はい横断」



左側通行をまもって



お礼の言葉 安島花穂さん

### 大災害時の引渡訓練・地域学校防災力強化委員会

5月1日(木)に、「震度5強の大地震が発生」という想定で、上小川小学校・南中学校・頃藤保育所・大子特別支援学校4校合同引渡訓練を実施しました。

今回は、子どもたち、保護者に対しては、地震発生時の基本行動を確認・実践し、保護者への安全な引渡について保護者と共通理解しました。更に、引渡訓練終了後に、4校の校長とPTA会長、コミュニティーセンター長、消防団、警察の皆様が本校のミーティングルームにて、「地域・学校防災力強化委員会」を実施し、地域と学校の連携の在り方の検討を行いました。

今回の振り返りとして、以下の点が話題に上がりました。

- ・児童は避難行動時に私語が一切なく、スムーズに避難できた。
- ・迎えに来た他の保護者や家族まで顔が分かる関係がいい。
- ・今後に向けて、避難場所を災害の状況に応じて、第1・第2避難場所の設定と登下校中の災害への対応を確認しておいたほうがいい。
- ・学校職員だけで対応が難しい時もあると思う。保護者も児童看護等サポートする体制が必要。
- ・祖父母が登録できるメール機能があるといい。

今回、様々な立場の方が集まり、「もし、大災害が起こったら」という視点で、具体的に話し合いができました。今後も学校・行政・地域と連携しながら安全安心な体制づくりを推進していきます。



機能別消防団員安島様のお話



地域・学校防災力強化委員会



### 健康・安全に気をつけて、楽しい連休に (4月26日発出の文書)

#### ◆健康・安全

- ・交通事故に気をつける。(学年毎に自転車を乗る区域を指導しています。)
- ・知らない人についていかない。危険なところで、子どもだけで遊ばない。

#### ◆規則正しい生活

- ・スマホやゲームは計画的に
- ・十分な睡眠時間
- ・外出の際は、行き先・帰宅時間を伝える。